

注意

前年度の入試情報となります。
新しい情報は随時公開いたします。

You, Unlimited



RYUKOKU
UNIVERSITY

龍谷大学

経済学部



2024

Faculty of

Economics



Diverse Approaches to Economics

**国際的・地域的なアプローチで、
課題発見、課題解決**

国際的・地域的な多様性を理解し課題の発見と解決に努める人間育成が経済学部目標です。実践的な力を身につけるために、理論を学ぶ一方で、現地を訪れて学ぶフィールドワークへの取り組みを重視。テーマの範囲は広く、企業経営から国際経済や貧困、財政、税制など、多岐にわたり、興味のある分野を学生が深く学べることを特徴としています。

現代経済学科

客観的なデータ分析能力と計画立案に基づいて、具体的な問題解決策を提示できる人材へ

経済理論プログラム
産業経済プログラム
応用政策プログラム
経済データサイエンスプログラム

国際経済学科

コミュニケーション能力を駆使して世界の人々と協力しながら問題解決を図れる人材へ

国際経済プログラム
開発経済プログラム
経済史プログラム

学科の枠を超えて
履修可能

学部共通コース

国際関係コース
英語コミュニケーションコース
スポーツサイエンスコース
環境サイエンスコース

国際経済プログラム

開発経済プログラム

経済史プログラム

Learn the Real Economy and Develop a Global Mindset

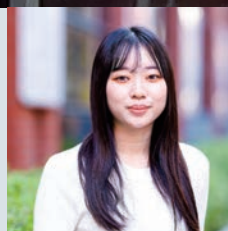
経済を多角的にとらえ
グローバルマインドを養う

国際経済学科は、「国際経済」「開発経済」「経済史」のプログラム選択で、その専門的知識、世界経済の仕組みや動きを理解・分析する力を身につけることが可能。各プログラムで学ぶ3名から、学びの様子などを聞いてみました。

Keiko Mihara

三原 慶子さん

国際経済学科 3年生
(大阪市立南高等学校 出身)



国際経済プログラムについて

三原: 国際経済プログラムでは、グローバル化がすすむ現代社会においてどのような経済活動が行われているのかを知り、進化し続ける経済理論を深く掘り下げていきます。本プログラム最大のポイントは、世界経済に対する確かな知見を得られることです。グローバル化が加速するこれからの時代を生きていく私たちにとって、自国だけでなく世界の経済事情を理解することは、もはや不可欠なのかもしれません。柔軟な思考をもつ学生のうちにこれらの知識を修得し、グローバルな視野を養っておけば、社会人として働く将来への大きなアドバンテージになると考えています。

開発経済プログラムについて

鶴岡: 私が所属している開発経済プログラムのゼミは、フィールドワークが中心です。「日本の農業・農村での体験を通じた、持続可能な食と農の関係」をテーマに限界集落を調査し、学生目線から集落を活性化させる手段を探しました。農業に関する議題が多く、一見「経済学部らしくない」と思われるこの活動も、データの集積や分析、そして具体的な施策の提案には、経済学的な知見が求められます。実情に即した経済事情を知るといった観点から見ても、自分の知識をアウトプットできるフィールドワークは、経済の仕組みに対する理解への足がかりとなるでしょう。散在する課題を自らが見つけ出し、課題解決の手立てを探っていく経験は、社会に出てききと役立つと思います。

経済史プログラムについて

石井: この経済史プログラムで、私は主に学説から経済学の歴史を考察し、望ましい政策の実現に向け分析しています。人々の意思や思惑を超えた経済の構造・社会システムに注目する経済史に対して、経済学史は

人々のアイデアや動機、誘引といった認識活動そのものに注目して経済を紐解いていきます。いわば、経済学の見取り図のような学問といえるでしょう。かなり長い歴史をもつ哲学や法学に比べると、経済学は未成熟な部分もあります。そんな若い学問であるにもかかわらず、急速な発展を遂げてきた経済学は、整理すべき論点が多いのも事実です。だからこそ、経済史の学びは、経済学の強みや弱みを再認識するきっかけにもなるのではないのでしょうか。

それぞれのプログラムを学んだ結果

三原: 経済のグローバル化が加速的に進み、人・モノ・お金の動きに国境の垣根がなくなった昨今、日本と海外の経済的な結束は過去に例を見ないほど強くなっています。貿易や為替といった、現代のリアルな世界経済を学ぶなかで、これからの国際社会を生き抜くには、世界の広さと世界経済のリアルに目を向ける必要があるとわかりました。私自身の視野が狭かったことにも気づき、今の自分が何をすべきかを考えられるようになったのも大きな成長だと感じています。このプログラムをきっかけとして、今後ますますグローバルな視野を磨き、国際的な視点から物事を見る力を養いたいと思います。

鶴岡: 私は実際に限界集落を調査して、高齢化や人口減少といった世間で認知されている問題以外にも、さまざまな課題が山積していると知りました。例えば、各地に分散している行政サービスの問題です。都道府県や市町村による公共投資や行政サービスなどが分散されている現状において、行政側がサービスを維持しようとすれば、多額の支出は避けられません。日本の厳しい財政状況下では、いずれサービスの提供自体が困難になる可能性もあるでしょう。このような事例を踏まえて、各地に分散する集落を一つに集約して生活サービスを向上させれば、行政サービスの経費削減にもつなが

ると考えました。

石井: 経済学者の学説を読み解くといっても、相似点や真反対な意見も数多く、それぞれの持論は千差万別です。そのような多彩な考え方に触れるなかで、多様性への理解が確実に深まりました。マイノリティの意見にも真摯に耳を傾け、尊重する姿勢は、経済学的な問題だけでなく、他分野における社会問題の解決にもつながるのではないのでしょうか。このプログラムをとおして、今まで気にも留めていなかった社会問題、例えば、不景気の要因や景気を回復するための政策などにも目を向けるようになり、広い視野で社会を観察できるようになったと感じています。小さな疑問に関しても調べる癖がつき、以前に増して探究心も強くなったと感じます。

鶴岡: 私たち学生の考えはまだ稚拙で、きれいごとかもしれません。しかし、たとえ今は実現できないとしても、学生ならではの視点で課題をとらえ、自分たちなりの解決策を模索するなかで新たな気づきを得ることもあるでしょう。何をなすべきかを見つけ、それをどうやって行動に移すかを考える。実践的な学びでその大切さを学んだ今だからこそ、自分軸で物事をとらえ、自分なりの答えを探していきたいです。



Anri Tsuruoka

鶴岡 杏梨さん

国際経済学科 3年生
(大阪府立枚方高等学校 出身)



Takumi Ishii

石井 拓海さん

国際経済学科 4年生
(大阪府立三島高等学校 出身)





経済理論プログラム

経済を動かす仕組みを学び 経済の本質を見抜く力をつける

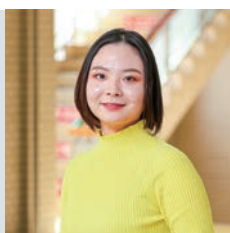
経済を動かす人の行動や企業における金融問題などの事象を掘り下げるとともに、
経済モデルを活用し、複雑に入り組んだ経済現象の背景を洞察する力を養っていきます。

企業金融についての理解を深め 金融問題への分析力を高める

コーポレート・ファイナンス（企業金融）の基本概念を学び、それを土台に投資判断や資金調達、配当政策に関する理解を深めました。公認会計士や証券アナリストといった資格取得や金融機関への就職を考えている人はもちろん、現代のビジネスフィールドで働くために必要とされる知識が身につくプログラムです。株や負債などについても学ぶので、投資や就職活動時には企業の安定性や将来性などを見極める力も養うことができます。いま、社会では企業金融や投資が注目を集め、教育にも組み込まれるようになりました。その一方で、いまだに知識不足による苦手意識が存在しているのが現実です。しかし、正しい知識を身につければ、投資や金融問題に対するハードルを下げることも可能でしょう。私自身も財務諸表の読み方や企業の資金的な面の成り立ちなどを学ぶなかで、さまざまな企業についてより詳細な分析ができるようになりました。

Shuri Ueda

上田 朱莉さん
現代経済学科 3年生
(京都府立園部高等学校 出身)



行動経済学の観点から 人間の意思決定を分析する

経済学はお金のことを学ぶと思われがちですが、実際は取引と取引を決定づける「意思決定」について、理論的に理解・説明する学問でもあります。行動経済学では、標準的な経済学では説明できない事象を、人間の心理的傾向まで取り入れて分析します。例えば、ギャンブルの負けをギャンブルで取り返そうとする、投資で損切りができないといった行動は、「人間は損失局面でリスク愛好的になる」と考えます。「失敗すればより損失は大きくなるが、うまくいけば損失をなかったことにできる」と思い、無謀な行動を取ってしまうのです。社会は人間のさまざまな選択と意思決定で成り立っています。そうした意思決定の原理・理論についての学びは、社会が抱える課題の学びと密接に結びついています。私はこの学びを経験し、自分自身の選択、意思決定についてより深く考える機会が増えました。学問的な成長だけでなく、人間的にも成長するきっかけになったと感じています。

Toru Kobayashi

小林 亨さん
現代経済学科 3年生
(大阪府立東住吉高等学校 出身)



現場のリアルな声を聞き、
問題解決の糸口を探る

経済が発展する一方で、地域産業の衰退や産業の空洞化といった問題が浮上している現在、企業現場のリアルな声に耳を傾ける必要があります。中小企業の置かれている現状や中小企業制度のあり方など、地域産業の構造や仕組みを学び、どのような課題に直面しているかを考えるのが、産業経済プログラムです。実際に現場へ足を運び、地元企業の方々から直接お話を聞けるのが特徴で、座学だけでは知り得ないリアルな現状を知ることができます。地域経済の活性化を図るには、「地域を限定せず外部から企業を誘致し、新たな雇用を創出する」「産業衰退の要因を掘り下げ、可能性を探っていく」「伝統産業の継承に向けて、海外市場を視野に入れる」など、幅広い視点と柔軟な思考が大切です。私自身も視野が広がり、問題を見つけ出そうとする当事者意識も養われました。今後も地域経済が抱える問題に目を向け、学びと経験を活かした自分なりのアプローチ方法を考えていきたいです。

Haruto Mizuta

水田 晴斗さん
現代経済学科 3年生
(和歌山県 初芝橋本高等学校 出身)

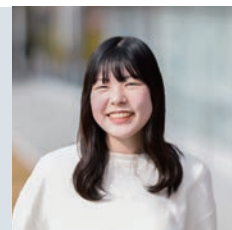


ホスピタリティビジネスの本質に迫り
コミュニケーションのあり方を考える

「ものの豊かさ」が重視された高度経済成長期を経て、多くの人が中流意識をもつようになった現代、「心の豊かさ」が求められています。「心の豊かさ」を追求するなかで重視されるのがホスピタリティです。人的交流において不可欠だけでなく、ビジネスの世界でもその重要性が認識されはじめています。「ホスピタリティ・ビジネス論」では、ホスピタリティの歴史や語源、定義を明らかにして観光・旅行・飲食といった多業種の現実を把握し、ホスピタリティビジネスの本質を理解していきます。この授業をとおして私は、顧客満足度や従業員満足度の向上を図り、誰もがいきいきと働ける環境を整備するには、形骸化されているコミュニケーションのあり方を見直すべきだと考えました。社会人としての心構えやコミュニケーションにおけるホスピタリティ精神が、人の尊厳と社会の正常化、地球にやさしい自然環境への関心を生み、経済を発展させていくうえで重要な役割を果たすと考えます。

Saika Shimano

島野 さいかさん
現代経済学科 3年生
(大阪府 上宮高等学校 出身)



産業経済プログラム

企業・産業・地域の現状を把握し 現場密着で経済問題を考える

地域産業や地域経済の現状について学ぶ、産業経済プログラム。
地域が直面している問題について分析したり、実際に現場へ足を運んだりしながら、
問題を解決へと導く主体的な思考力、実践的知識と技能を養います。



応用政策プログラム

政府の果たすべき機能を考察し、社会課題解決の活路を見出す

格差や不平等などの社会問題を私たちの生活に関わる身近な事柄としてとらえ、解決方法を模索します。国と地方で異なる経済の役割を理解し、最終的に政府が打ち出すべき政策とは何かを考えます。

地方財政を身近な問題として再定義する

私たちの生活を支える身近な公的サービスは、地方自治体によって提供されています。しかし地域によっては財源不足などが理由で、実際の財政力には格差が生じています。そうした問題が発生する背景や現状を理解し、政府が打ち出すべき有効な政策を考えていくのが「公共経済学」の目的です。日本の地方財政システムの成り立ちや課題、自分の住む地域の財政状況を知るなかで地方財政の抱える問題がいかにか私たちの暮らしに影響を与えるかを再認識し、強い危機感をもちました。補助金のあり方や税金の使途など、今まで考えもしなかったお金の流れにも関心が深まり、より身近な問題としてとらえられるようになりました。まず国民一人ひとりが現状を把握し自分ごととして問題意識を高めていけば、政府による新たな政策や地方財政の課題解決にもつながっていくのではないのでしょうか。日々の暮らしを守るには、身近な問題を軽視せず向き合い続ける必要があると考えます。

Kazuya Haraguchi

原口 和也さん
現代経済学科 4年生
(大阪府 上宮高等学校 出身)



財政への理解がより良い社会への道標に

財政の機能不全は社会の公平性の阻害・所得の不平等にもつながります。政府には財政を円滑に機能させるべく政策を決定する役割があり、「地方財政論」ではそのプロセスを学びます。取り扱うテーマは租税や公共事業の費用・便益など幅広く、どの分野においてもグラフや数式を用います。数学や経済学に依拠した理論のもと、財政がいかにか政策へと結びつくかを現実の社会問題や事象に即して学びます。講義がすすむにつれて、自分も社会の財源を担う一員であるとの自覚が芽生え、ニュースや新聞で情報収集をする習慣が身につきました。これまで以上に選挙に関心を寄せるようになり、政策の意図や今後予想される展開まで自分の頭で考えるようになったのも大きな変化です。各個人による財政の深い理解が、社会課題解決や国民の主張が反映される社会づくりにもつながります。これからも身の回りの問題に対し疑問や意見をもつ姿勢を忘れず、不平等のない社会の実現のために自分にできることを考えていきたいです。

Hiroki Hatano

波多野 宏樹さん
現代経済学科 4年生
(京都府立西城陽高等学校 出身)



リアルなデータの活用が現状打破の糸口に

「データサイエンス」の授業では、データサイエンスをファイナンスデータ分析に応用し、データ分析とプログラミング技術を身につけます。リアルな株のデータを題材に「Python」を用いた分析やグラフ作成を行い、データサイエンスの手法を実践的に学びます。ビッグデータの活用が社会的なトレンドとなっている現在、諸産業へのデータサイエンスの適用、それによる経済発展と社会課題解決が急務となっています。「デジタル人材」は、この喫緊の課題を解決する役割を期待されている反面、不足しているのが現状です。人材の育成が急がれているといっても、手法や技術の修得だけでは実社会の課題解決にはつながりません。リアルなデータから傾向を読み取り、現実問題と紐づけて試行を重ねる経験が、デジタル人材には不可欠だと考えます。授業を通じて、実用的な分析力や作図能力、社会の課題を解決するデジタル人材としての素養が養われたと感じています。

Wakaba Miyamoto

宮本 若葉さん
現代経済学科 3年生
(滋賀県立安曇川高等学校 出身)

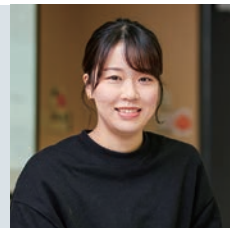


統計情報から、社会課題への政策効果を分析

経済データサイエンスプログラムでは「R」という統計解析ソフトを使い、さまざまな社会課題を検証・考察する手法を学修します。「就学年数と年収」「少子化と学力」などの因果関係に着目し、政府の施策がどのような効果を発揮しているかを、世界標準の高度な分析手法で測定します。例えばコロナ禍の給付金の実効性も、「応用計量経済学」の授業で取り扱うようなデータ分析によって明らかになるかもしれません。社会課題の因果関係を把握するには大規模な実験が有効といわれるものの、実際は予算的・倫理的に難しいという現実があります。その点、本プログラムの「応用計量経済学」を活用すれば、観察データの活用で課題解決の糸口が得られます。この授業をとおして私は、政策における、説得力のある根拠すなわち「エビデンス」の重要性について学びました。そして私自身、考えたことを誰かに伝える際には、確かな論拠や情報を示すことを大切にしたいと思うようになりました。

Saki Ikeda

池田 早紀さん
現代経済学科 3年生
(京都府 京都成章高等学校 出身)



経済データサイエンスプログラム

ビジネスの課題を解決に導く、 データサイエンスの知見を修得

スマートフォンの普及やIT技術の発展で、ビッグデータ時代の到来が近づく昨今。

膨大なデータを収集・分析する能力は、もはや必須といえるでしょう。

データサイエンスを基礎から学び、社会課題を解決する知見を身につけます。

Hot Topics

経済学部取り組み

参加型の新入生サポート

1 充実した初年次教育

経済学部では入学から卒業までの4年間を通じて、少人数の演習科目を開講しています。すべての学生は、演習が始まる2年生後期までに、「入門演習」「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」という科目を通じて、大学での学修の基本となる5つの技法（聴く・読む・調べる・書く・伝える）を集中的に修得します。「学修ガイド」という、全員共通の教材、文章課題などの機会を活用し、学びを深めていきます。キャリア教育も演習科目のなかでスタートし、学びのスキルが将来設計と関わることも理解していきます。



2 先輩が1年生にアドバイス 授業内ピア・サポーター制度

1年生の少人数授業である「入門演習」「基礎演習Ⅰ」には、教員と1年生の間に立ち、1年生を支援する上級生「ピア・サポーター」が配置されます。ピア・サポーターは、1年生にとっては、初めてのことばかりで不安な大学生活を少しでも和らげてくれる心強い味方です。経済学部独自の制度であるピア・サポーター制度のもと、授業は教員、ピア・サポーター、1年生の三者でつくりあげられ、アクティブ・ラーニングが積極的に推進・深化されていきます。



参加型の新入生サポート

3 学内の研究活動支援や 各種イベントを企画・運営 経済学部ゼミナール連合会

経済学部には、「ゼミナール連合会」という“学生の自治組織”があり、各種イベントを主体的に企画・運営しています。新入生クラスの親睦を深めるための「バレーボール大会」、3年生の演習における研究活動や学びを一層深め、拡げるための「研究報告会」などを主催し、学生が学ぶ環境を活性化する役割を担っています。



“生きた経済”を学ぶサポート

4 現場経験とケーススタディーにもとづいた 民間企業・官公庁の 現場の声を聴く提供科目

経済学部には、企業・地方自治体・NPOなど、「現場」の第一線で活躍する講師が担当する科目が配置されています。講師の経験や具体的な事例を通じて、企業経営・戦略のノウハウ、産業の生き残り、行政が直面する課題などに関わる、現在進行形の“生きた経済”を学べます。受講しているうちに、将来の自分が働く「現場」のヒントをつかめるでしょう。



“生きた経済”を学ぶサポート

5 体験をとおして英語や経済に親しむ 海外フィールド研修

Guam University を拠点に、英語と島の経済・歴史・自然を学ぶことができる、経済学部独自の短期研修制度です（1～4年生対象）。楽しみながら英語を身につけるだけでなく、島の観光業の現場で“生きた経済”を学び、フィールドワークをとおして島の歴史や自然に親しみます。カリキュラムに参加してくれる Guam University の学生とも、多くの場面で交流を深めることができます。

研修前半は主に Guam University で英語を学び、後半は博物館や観光地を訪ねて Guam の文化や歴史を体験しました。研修を通じて英語で会話する楽しさを知り、帰国後はより意欲的に語学学習に取り組むようになり、異文化への関心も高まったと感じます。今後もさらなる語学力向上に努め、異文化や訪日外国人の方々と深く関わっていきたいです。

水口 璃々佳さん
国際経済学科 2年生
(沖縄県立那覇高等学校 出身)



実践的で主体的な学びのサポート

6 心理学を取り入れた“行動経済学”

従来の経済学は「人間は合理的に行動する」ことを前提とします。しかし現実の人間はつい無駄づかいをしてしまうなど、一見不合理な行動を取る場合があります。こうした現象を説明するため、経済学に心理学の手法を取り入れたのが「行動経済学」です。人々の意思決定を数式で表し、経済との関連性を考えます。この学問により、経済がより身近になります。



7 実践的な英語能力を培い、 国際ビジネスの現場で活躍できる 人材を育成するために

経済学部では「TOEIC®IP」の検定試験受験を推奨しています。また、経済学の基本科目であるミクロ・マクロ経済学の基礎知識の修得レベルと、実体経済での応用能力レベルを判定するために「ERE 検定」の受験も推奨しています。いずれも、受験料は全額補助、入学時から卒業まで何度でも受験することができます。

TOEIC®に挑み続けて
英語力と自信を獲得

TOEIC®の受験料の全額補助制度を利用できるので、とても助かっています。初めての試験の結果は745点でした。自分の弱点を知ってから、TOEIC®850点・TOEFL®iBT 90点を目標に掲げて勉強し、自信がついたと感じています。本学部で磨いた英語力を活かし、将来はグローバルな分野で活躍したいです。

馮 新朋さん
国際経済学科 3年生
(中国 山東省濰坊商業学校 出身)



4-Year Studies



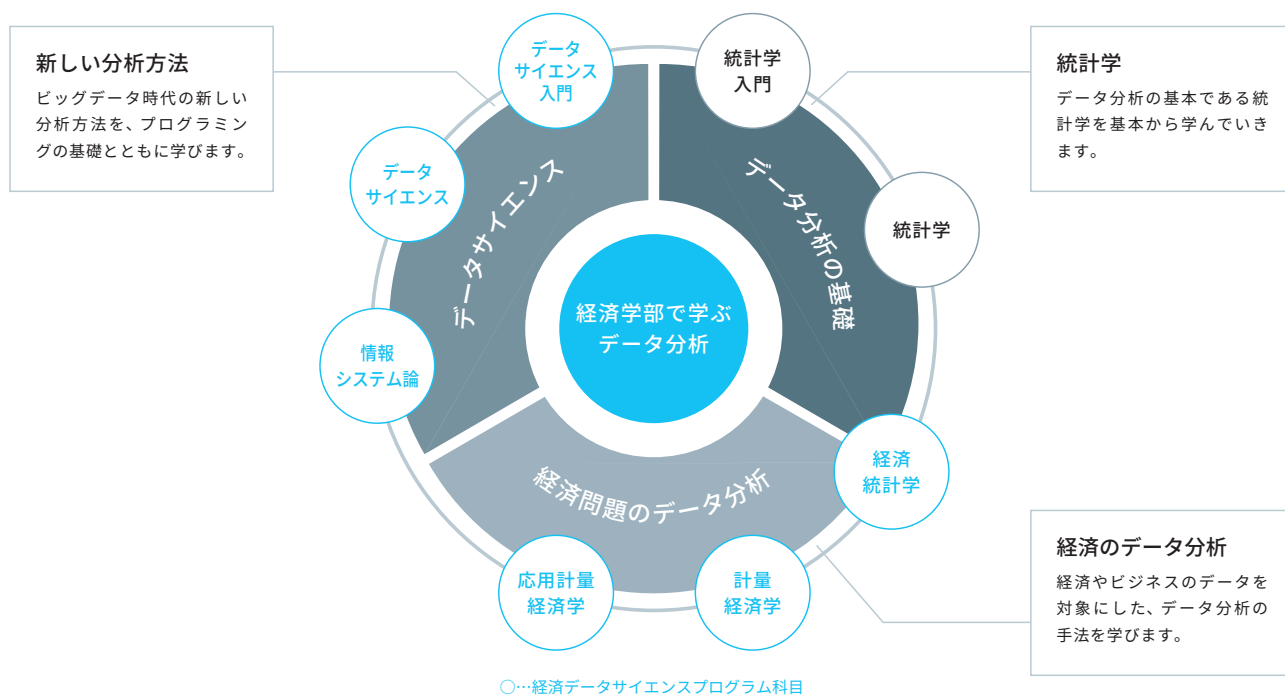
4年間で何を学ぶ？

社会の課題に多角的なアプローチができる問題解決能力・
政策立案能力・情報処理能力を備えたリーダーを育成する

データをつかって世界を変えよう

データサイエンスを基礎から学べます

スマートフォンの普及や、IT技術の飛躍的發展により、膨大なデータが利用可能となり、我々はビッグデータ時代の到来を迎えつつあります。そのような時代の変化を反映して、データを収集し分析することで、社会やビジネスの課題を解決していけるような人材が、あらゆる仕事で求められています。経済学部では、このような人材の育成に、本格的に取り組んでいます。



授業紹介

統計学入門

高校で学ぶ統計の内容から出発し、さまざまなデータ分析の前提となるような、基本的な統計リテラシーを学びます。

統計学

統計的なものの考え方の基礎をじっくりと学びながら、統計学の体系的な知識を身につけます。

経済統計学

経済を対象としたデータ分析の基礎を学びます。代表的な経済データの定義や作成方法についても解説します。

計量経済学

社会や経済についてのさまざまな仮説を検証するための、データ分析の手法を本格的に学びます。

応用計量経済学

計量経済学の手法を適切に用いて、より正確なデータ分析を行うための、実践的な講義です。

データサイエンス入門

データ分析に広くつかわれるRやPythonといったプログラミング言語を用いて、データサイエンスの基礎を学びます。

データサイエンス

社会や経済についての多様なデータを用いながら、データサイエンスのさまざまな分析手法を学んでいきます。

	1年次	2年次	3年次	4年次																																			
4年間の流れ	幅広い基礎力を しっかり身につける	自分の学びを深める 学科を選択する	社会で活かせる専門力を じっくり鍛える	4年間の学びを 卒業論文にまとめる																																			
少人数ゼミ	<table border="1"> <tr> <th>入門演習</th> <th>基礎演習Ⅰ</th> <th>基礎演習Ⅱ</th> </tr> <tr> <td colspan="3"> 「学びの基礎力」となる「聴く・読む・調べる・書く・伝える」の5つの力を徹底的に身につけます。授業内ピア・サポーターも支援します。 </td> </tr> </table>	入門演習	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅱ	「学びの基礎力」となる「聴く・読む・調べる・書く・伝える」の5つの力を徹底的に身につけます。授業内ピア・サポーターも支援します。			<table border="1"> <tr> <th>演習Ⅰ</th> <th>演習Ⅱ</th> <th>卒業研究</th> </tr> <tr> <td colspan="3"> 経済学の基礎を十分理解したうえで、自分に合った専攻分野にすすみ、少人数の演習で専門力をじっくり鍛えます。3年生後期では、日頃の研究成果を競う「ゼミ対抗研究報告会」を開催。4年生では、研究の集大成となる卒業論文を執筆します。 </td> </tr> </table>	演習Ⅰ	演習Ⅱ	卒業研究	経済学の基礎を十分理解したうえで、自分に合った専攻分野にすすみ、少人数の演習で専門力をじっくり鍛えます。3年生後期では、日頃の研究成果を競う「ゼミ対抗研究報告会」を開催。4年生では、研究の集大成となる卒業論文を執筆します。																											
入門演習	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅱ																																					
「学びの基礎力」となる「聴く・読む・調べる・書く・伝える」の5つの力を徹底的に身につけます。授業内ピア・サポーターも支援します。																																							
演習Ⅰ	演習Ⅱ	卒業研究																																					
経済学の基礎を十分理解したうえで、自分に合った専攻分野にすすみ、少人数の演習で専門力をじっくり鍛えます。3年生後期では、日頃の研究成果を競う「ゼミ対抗研究報告会」を開催。4年生では、研究の集大成となる卒業論文を執筆します。																																							
多様な学び・多様な実践の場	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">基礎を理解したうえで、自分に合う学科を選択(2年次)</p> <table border="1"> <tr> <th>経済学の基礎Ⅰ</th> <th>経済学の基礎Ⅱ</th> </tr> <tr> <td> 経済学の入門科目をとおして、経済学の基礎や現代経済の諸問題を学びます。 </td> <td> 経済学の基礎科目をとおして、経済学の基礎の学びを深めていきます。 </td> </tr> <tr> <th>基礎力育成科目</th> <td> 経済学の技法Ⅰ・Ⅱ、経済英語Ⅰ～Ⅲ、経営学総論、政治学原理など </td> </tr> <tr> <th>キャリア形成科目</th> <td> キャリア形成論など </td> </tr> <tr> <th>教養教育科目</th> <td> 仏教の思想、外国語、教養科目など </td> </tr> </table>		経済学の基礎Ⅰ	経済学の基礎Ⅱ	経済学の入門科目をとおして、経済学の基礎や現代経済の諸問題を学びます。	経済学の基礎科目をとおして、経済学の基礎の学びを深めていきます。	基礎力育成科目	経済学の技法Ⅰ・Ⅱ、経済英語Ⅰ～Ⅲ、経営学総論、政治学原理など	キャリア形成科目	キャリア形成論など	教養教育科目	仏教の思想、外国語、教養科目など	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">現代経済学科</th> </tr> <tr> <td colspan="2"> 最新の経済動向を把握し、客観的なデータ分析と計画・立案・提言の能力を養う科目を配置。自分の学びにあわせて科目を自由に選択できるとともに、4つのプログラム(科目群)に分かれているので、系統的な履修が可能です。 ※国際経済学科の科目も履修可能です。 </td> </tr> <tr> <th>経済理論プログラム</th> <td>より高度な現代の経済理論を学びます。</td> </tr> <tr> <th>産業経済プログラム</th> <td>企業・産業・地域経済など、現場に密着したところから経済を考えます。</td> </tr> <tr> <th>応用政策プログラム</th> <td>さまざまな経済・社会問題を学び、それらを改善するための政策を提案します。</td> </tr> <tr> <th>経済データサイエンスプログラム</th> <td>ビッグデータ時代の新しいデータ分析の手法を学びます。</td> </tr> <tr> <th>学部共通コース</th> <td>スポーツサイエンスコース 環境サイエンスコース</td> </tr> <tr> <th colspan="2">国際経済学科</th> </tr> <tr> <td colspan="2"> 世界経済の動きを敏感に読み取り、豊かな国際感覚とコミュニケーション能力、問題解決能力を養う科目を配置。自分の学びにあわせて科目を自由に選択できるとともに、3つのプログラム(科目群)に分かれているので、系統的な履修が可能です。 ※現代経済学科の科目も履修可能です。 </td> </tr> <tr> <th>国際経済プログラム</th> <td>貿易や為替の仕組みとその影響などを学び、世界経済の行方を考えます。</td> </tr> <tr> <th>開発経済プログラム</th> <td>開発という視点から、先進国と発展途上国の経済関係を見つめ直します。</td> </tr> <tr> <th>経済史プログラム</th> <td>長期にわたる日本と世界の経済発展の歴史を体系的に学びます。</td> </tr> <tr> <th>学部共通コース</th> <td>国際関係コース 英語コミュニケーションコース</td> </tr> </table>	現代経済学科		最新の経済動向を把握し、客観的なデータ分析と計画・立案・提言の能力を養う科目を配置。自分の学びにあわせて科目を自由に選択できるとともに、4つのプログラム(科目群)に分かれているので、系統的な履修が可能です。 ※国際経済学科の科目も履修可能です。		経済理論プログラム	より高度な現代の経済理論を学びます。	産業経済プログラム	企業・産業・地域経済など、現場に密着したところから経済を考えます。	応用政策プログラム	さまざまな経済・社会問題を学び、それらを改善するための政策を提案します。	経済データサイエンスプログラム	ビッグデータ時代の新しいデータ分析の手法を学びます。	学部共通コース	スポーツサイエンスコース 環境サイエンスコース	国際経済学科		世界経済の動きを敏感に読み取り、豊かな国際感覚とコミュニケーション能力、問題解決能力を養う科目を配置。自分の学びにあわせて科目を自由に選択できるとともに、3つのプログラム(科目群)に分かれているので、系統的な履修が可能です。 ※現代経済学科の科目も履修可能です。		国際経済プログラム	貿易や為替の仕組みとその影響などを学び、世界経済の行方を考えます。	開発経済プログラム	開発という視点から、先進国と発展途上国の経済関係を見つめ直します。	経済史プログラム	長期にわたる日本と世界の経済発展の歴史を体系的に学びます。	学部共通コース	国際関係コース 英語コミュニケーションコース
経済学の基礎Ⅰ	経済学の基礎Ⅱ																																						
経済学の入門科目をとおして、経済学の基礎や現代経済の諸問題を学びます。	経済学の基礎科目をとおして、経済学の基礎の学びを深めていきます。																																						
基礎力育成科目	経済学の技法Ⅰ・Ⅱ、経済英語Ⅰ～Ⅲ、経営学総論、政治学原理など																																						
キャリア形成科目	キャリア形成論など																																						
教養教育科目	仏教の思想、外国語、教養科目など																																						
現代経済学科																																							
最新の経済動向を把握し、客観的なデータ分析と計画・立案・提言の能力を養う科目を配置。自分の学びにあわせて科目を自由に選択できるとともに、4つのプログラム(科目群)に分かれているので、系統的な履修が可能です。 ※国際経済学科の科目も履修可能です。																																							
経済理論プログラム	より高度な現代の経済理論を学びます。																																						
産業経済プログラム	企業・産業・地域経済など、現場に密着したところから経済を考えます。																																						
応用政策プログラム	さまざまな経済・社会問題を学び、それらを改善するための政策を提案します。																																						
経済データサイエンスプログラム	ビッグデータ時代の新しいデータ分析の手法を学びます。																																						
学部共通コース	スポーツサイエンスコース 環境サイエンスコース																																						
国際経済学科																																							
世界経済の動きを敏感に読み取り、豊かな国際感覚とコミュニケーション能力、問題解決能力を養う科目を配置。自分の学びにあわせて科目を自由に選択できるとともに、3つのプログラム(科目群)に分かれているので、系統的な履修が可能です。 ※現代経済学科の科目も履修可能です。																																							
国際経済プログラム	貿易や為替の仕組みとその影響などを学び、世界経済の行方を考えます。																																						
開発経済プログラム	開発という視点から、先進国と発展途上国の経済関係を見つめ直します。																																						
経済史プログラム	長期にわたる日本と世界の経済発展の歴史を体系的に学びます。																																						
学部共通コース	国際関係コース 英語コミュニケーションコース																																						

現代経済学科	
[取得可能な免許・資格]	
<ul style="list-style-type: none"> ● 中学校教諭一種免許状(社会) ● 高等学校教諭一種免許状(公民) ● 図書館司書 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校図書館司書教諭 ● 本願寺派教師資格(受験資格)
[めざす職業・進路]	
<ul style="list-style-type: none"> ● 企業(営業職、販売職など) ● 研究職、司書 ● 教員(中学校、高等学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 公務員(国際・国家・地方) NPO/NGO

国際経済学科	
[取得可能な免許・資格]	
<ul style="list-style-type: none"> ● 中学校教諭一種免許状(社会) ● 高等学校教諭一種免許状(地理歴史) ● 図書館司書 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校図書館司書教諭 ● 本願寺派教師資格(受験資格)
[めざす職業・進路]	
<ul style="list-style-type: none"> ● 企業(企画・営業職、海外駐在員など)、航空・ホテル・旅行業 ● 研究職、司書 	<ul style="list-style-type: none"> ● 教員(中学校、高等学校)、通訳・翻訳 ● 公務員(国際・国家・地方) NPO/NGO

Seminars

ゼミ紹介

現代経済学科 西本 秀樹ゼミ



SDGsの取り組み —社会貢献につながるプロジェクトを企画—

学生ならではの視点で、社会貢献への道筋を切り拓く



土屋 洸志さん
現代経済学科 4年生
(岐阜県立恵那高等学校 出身)

西本ゼミでは企業活動や社会問題を多角的に考察し、自分たちで社会貢献につながるプロジェクトを企画します。こども食堂やEコマースなどさまざまな活動が展開されるなか、私はSDGsを若年層に広めるための電子絵本の制作・出版を実践しました。一連のプロセスを経験して、主体的に考え行動する力が養われたと感じます。私の卒業論文のテーマは、「モバイル市場における携帯キャリアと顧客の関係性の変化について」です。論文執筆の際は、ゼミで身につけた企業研究の手法や論理的な思考方法のほか、本学科の授業で学んできた需要・供給やマイクロ・マクロといった経済学的な観点も、大いに役立ちました。一方、株価予想ゲームやフィールドワーク、食事会などゼミ生同士の交流が盛んなところも、このゼミの魅力です。就職活動の面接でも、自信をもってゼミ活動や研究成果を伝えられました。



山鳥 有未さん
現代経済学科 4年生
(京都府立須知高等学校 出身)

ゼミでは、SDGsの17の目標から一つをテーマに選び、グループごとに考察・発表します。この一連の活動を経て、私が卒業論文のテーマに選んだのは、「こども食堂と人とのつながり〜コロナ禍で増したこども食堂の必要性〜」でした。こども食堂が果たす社会的役割の周知に努めたいと思ったからです。その背景には、ゼミのこども食堂支援チームで参加した、西本願寺笑顔塾のボランティア経験がありました。論文やWebサイトの情報だけでは知り得ない、こども食堂の実情を目の当たりにし、その需要の大きさに驚いたからこそ、多くの人に正しく理解してほしいと考えました。ゼミ活動をすすめるなかで、先生は「するかしないかで迷ったときは、必ず行動する方を選びなさい」とおっしゃいます。チャレンジ精神を後押ししてくれる環境のおかげで主体性が身につく、自分の考えを行動に移せるようになりました。

[主な卒業論文テーマ(現代経済学科)]

- ビッグデータとプライバシー問題
- 人工知能が雇用に与える影響
- 代替医療の現状と今後の展望
- スポーツと経済
- 災害時におけるSNSの有効性
- ゲーム理論を用いた良好な人間関係の分析



国際経済学 —「食」と「農」の観点から、地方創生の糸口を探る—

限界集落で受け継がれる棚田、その知られざる魅力を発信する



玉置 絢菜さん
国際経済学科 3年生
(大阪府立狭山高等学校 出身)

西川ゼミに入ったのは、地域活性化や食品ロスなどの社会問題を解決したいと考えたからです。本ゼミはフィールドワークが多いのが特徴で、田植え・稲刈りの農業体験や現地調査をとおして農家の実態や地方の現状を学び、農業・地域を守るため自分たちにできる行動を考えます。現在すすめている卒業論文では、滋賀県高島市の活性化について考えています。これまでに名所・特産品の調査や住民対象のアンケートを実施したほか、市内で行われた全国棚田サミットに参加・成果報告をするなど、地域に密着した情報収集を行いました。さらに、より広く地方創生の意義を訴える研究内容とするため、講演会や勉強会にも参加し、地域社会の現状を反映した情報を仕入れて研究の充実につなげています。研究活動のなかで培われた行動力や情報収集力を活かし、今後も地域活性化の方法をより深く考察していきたいです。



東根 いち乃さん
国際経済学科 3年生
(兵庫県 須磨学園高等学校 出身)

お米や野菜などの農産物は、農業従事者の手を経て私たちのもとに届きます。食の経済活動を根幹から支える方々の働き方や労働環境、直面している課題を知りたいと思い、フィールドワークが充実している西川ゼミを選びました。さまざまな調査を通じて、生産地域には座学や情報だけでは計り知れない魅力がたくさん存在していると知りました。また、その事実を広く発信して地方創生への足がかり・社会課題の解決へつなげたいとの意識が芽生えました。卒業論文では、調査で訪れた滋賀県内の森西集落を主題に、限界集落や棚田のもつ魅力とその発信法を考察する予定です。ゼミ活動をとおして農業の観点から社会問題を考える力がつき、買い物でも生産者の表示をみるなど、身近なところでも農業と社会の結びつきに着目するようになりました。学びの成果は、こうした変化に強く表れていると感じています。

[主な卒業論文テーマ(国際経済学科)]

- 発展途上国における教育問題と観光開発
- 中国経済の諸問題と今後の展望
- ラオスの初等教育の課題とその解決に向けた方策
- 児童労働の規制のあり方をインドを例に再考する
- 日韓の対立の歴史と今後
- アメリカ・メキシコ間の国境の壁と銃規制

Life after Graduation



Graduate's Interview

株式会社 日本旅行

徳島支店 勤務

法人・地方創生営業 担当

Yoshiki Onishi

大西 慶棋さん

現代経済学科 2019年卒業
(香川県立観音寺第一高等学校 出身)

Q. 大学時代にはどのようなことに取り組んでいましたか？

「地域経済」を専攻テーマとするゼミに所属し、東日本大震災の被災地である岩手県陸前高田市の復興について研究・実地調査を行いました。研究成果や現地のヒアリングをまとめて、学内外の研究発表会にも参加しました。ゼミ活動を通じて、納得のいくまで突き詰める思考力、自ら進んで行う主体性が身につきました。

Q. 大学での学びは現在の仕事にどう活かされていますか？

地方自治体の地方創生や観光地の再建事業といった、従来の旅行会社の枠組みを超えた幅広い事業に取り組んでいます。在学時の学びは業務への姿勢に活かされており、仕事を任される機会も多くやりがいにもつながっています。弊社の掲げる「課題解決営業」の中核を担う人材となるべく、成長していきたいです。

My Background



大学1・2年生

京都の企業と協力し、外国人旅行者向けのお土産の市場調査を行いました。新商品開発につながったと喜びの声をいただきました。



大学3年生

ゼミ活動で岩手県陸前高田市を訪問し、現地の経済・地方創生を研究。今の仕事を選ぶきっかけとなった、とても有意義な経験でした。



大学4年生

キャリアセンターを活用し、志望先から内定をもらえました。実りある4年間を過ごせたのは多くの方に支えられたおかげです。



現在

取引先の課題解決をお手伝いできたときの達成感が、今の仕事の原動力。これからも自治体・企業のみなさまのために尽力いたします。



Graduate's Interview

日立グローバルライフ ソリューションズ株式会社

国内営業本部
中国西支店営業1グループ 勤務

Yuan Okumura

奥村 結安さん

国際経済学科 2019年卒業
(奈良県立高田高等学校 出身)

Q. 大学時代にはどのようなことに取り組んでいましたか？

中国経済の研究をきっかけに中国への関心が生まれ、国際関係コースを履修して中国の文化や社会を学びました。その後、交換留学生として大連外国語大学に1年間留学し、フィールドワークに取り組みながら、現地や多国籍の方々と交流しました。当時の経験は、語学力の向上のみならず、自分の価値観形成にも大きく影響しています。

Q. 大学での学びは現在の仕事にどう活かされていますか？

経済学部ゼミナール連合会での運営活動や中国への留学など、未知の分野にチャレンジし人間関係を築いた経験が、営業に携わる現在も不可欠なコミュニケーション力の礎となっています。海外に出て改めて気づいた自国の良さも、自社製品をアピールするのに役立っています。今後は、企画・商談といった部署でも経験を積みたいと考えています。

My Background



大学1・2年生

経済学部ゼミナール連合会に所属し、学内報告会の企画・運営に参加。学生や地域とのつながりが深まり、行動力が身につきました。



大学3年生

交換留学生として、中国大連に留学しました。1年間、異なる文化や社会のなかに身を置いて、新たな発見や考え方が生まれました。



大学4年生

留学先で学年栄誉賞をいただきました。現地の友人や多国籍のルームメイトと助け合った経験が、結果につながったのだと思います。



現在

家電を扱う営業職として、複数の家電量販店を担当し、担当する店舗の売り上げと粗利の拡大に向けた取り組みなどを行っています。



経済学部の就職

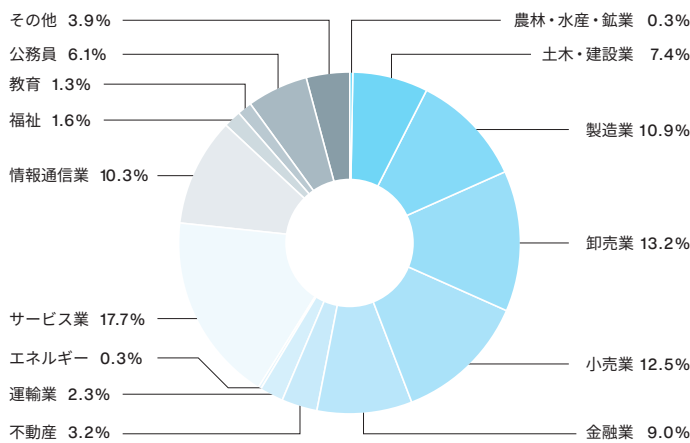
経済学部のキャリアサポート体制

就職支援として1年生の前期に開講する「入門演習」では、講義のなかでキャリアセンターから、大学4年間のキャリア形成についてレクチャーを受け、自身のキャリアプランを立てます。また、経済学部のキャリア形成科目として「キャリア形成論Ⅰ」「キャリア形成論Ⅱ」があり、少人数のワークショップ形式で実施。キャリアに関する諸理論を通じて自分自身を見直したり、キャリアについて考える視点をもてるように取り組んでおり、コミュニケーション能力の育成にも力を入れています。さらに、2年生後期から始まる「演習」でも、キャリアセンターの担当者から就職活

動直前の心構えについて学ぶことができます。そして、経済学部ではメンターシップ制度を実施しています。この制度は、経済学部同窓会(龍経会)の全面的な協力のもと、経済学部・経済学研究科の卒業生(メンター)と現役生を結びつける仕組みです。さまざまな職種や経験をもつメンターが各テーブルに配置される合同説明会のような「メンターフェア」、メンターと少人数の学生の座談会「メンターラウンジ」を「入門演習」等の正課の授業のなかにも取り入れながら就職支援に取り組んでいます。

就職状況 (2021年度卒業生)

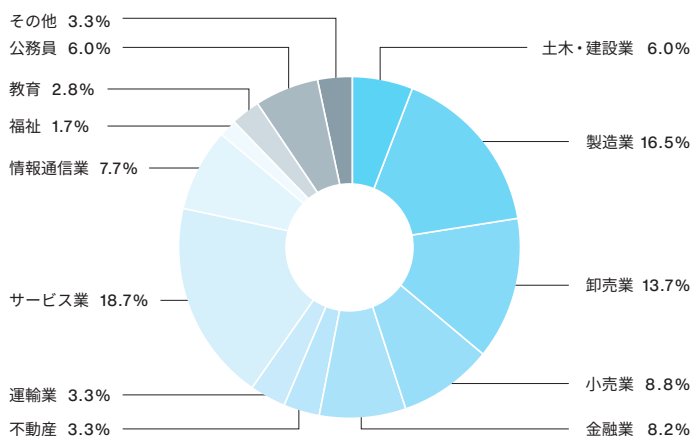
現代経済学科



[主な就職先]

- 大和ハウス工業株式会社
- ミサワホーム株式会社
- 株式会社伊藤園
- 住友ファーマ株式会社
- 株式会社パイロットコーポレーション
- 株式会社ロッテ
- AGC硝子建材株式会社
- 株式会社PALTAC
- 株式会社関西みらい銀行
- 株式会社京都銀行
- 京都信用金庫
- 住友生命保険相互会社
- 株式会社JTB
- 株式会社システナ
- ソフトバンク株式会社
- 株式会社マイナビ
- 国税庁
- 京都市役所
- 大阪府警察
- 神戸市役所 など

国際経済学科



[主な就職先]

- セキスイハイム近畿株式会社
- 積水ハウス株式会社
- 大和ハウス工業株式会社
- アイリスオーヤマ株式会社
- 株式会社 インダ
- 株式会社伊藤園
- ダイキン工業株式会社
- 富士通株式会社
- 山崎製パン株式会社
- レンゴー株式会社
- キャノンシステムアンドサポート株式会社
- 株式会社三井住友銀行
- 株式会社三菱UFJ銀行
- エン・ジャパン株式会社
- 富士ソフト株式会社
- 岐阜県教育委員会
- 厚生労働省
- 国土交通省
- 国税庁
- 京都府庁 など

※主な就職先は業種順に記載



株式会社 滋賀銀行 内定

ゼミでは地方創生について学び、東京一極集中の是正政策について研究していました。膨大な資料と向きあいながら政策の成否を検討する思考力や、集めた情報に対する自分なりの意見を述べる力も養われました。大学で培った力は、お客さまの抱える課題を共に解決し信頼関係を構築するうえで大いに役立つと考えています。中小企業への支援を通じて地元・滋賀の活性化に寄与し、地域と共に成長する行員になりたいです。

増田 好泰さん

4年生

(滋賀県立米原高等学校 出身)

株式会社フジドリームエアラインズ 内定

ゼミでは東日本大震災の経済復興について活発な議論を行い、卒業論文は「エアライン産業と地方創生」をテーマに研究しました。それらの活動は、就職活動での企業研究にも役立ちました。フジドリームエアラインズは「地方と人々を結ぶ」というビジョンのもと、さまざまなイベントや機内サービスを通じて地域活性化に取り組んでいます。今後は私も客室乗務員として地方の魅力をお客さまへお伝えし、たくさんの人を笑顔にしたいです。

柿木 悠花さん

4年生

(大阪府立交野高等学校 出身)



警視庁 内定

マクロ・ミクロ経済学など基本的な科目を幅広く履修し、ゼミではスポーツの動作分析を研究しました。多分野での学修を通じて、一つの見方に縛られず多面的に物事をみる視野や、それが起こった背景にも考えを広げる想像力が培われました。自分の軸を最後まで見失わずに就職活動ができたのも、その賜物です。警察官として地域の暮らしと安全を守っていくうえで、大学での学びはこれからも大切にしていきたいです。

兎玉 結夏さん

4年生

(大阪府 大阪桐蔭高等学校 出身)

京都中央信用金庫 内定

ゼミでSDGsを学んだおかげで、志望先の掲げる開発目標から会社の特色を見出せるようになり、就職活動における企業研究の視野が広がったと感じています。また、志望度の高い企業のインターンシップに参加して事業への理解を深めたり、自分をしっかりアピールできるよう面接の練習をしたり、事前準備は常に徹底していました。内定先では、経済学の知識を活かし、地元・京都に貢献したいです。

近藤 真優さん

4年生

(京都府立亀岡高等学校 出身)



龍谷大学のブランドストーリー

世界は驚くべきスピードでその姿を変え、
将来の予測が難しい時代となっています。
いま必要なことは、「学び」を深めること。
「つながり」に目覚めること。
龍谷大学は「まごころある市民」を育てていきます。

自らを見つめ直し、他者への思いやりを発動する。
自分だけでなく他の誰かの安らぎのために行動する。
それが、私たちが大切にしている
「自省利他」であり、「まごころ」です。
その心があれば、激しい変化の中でも本質を見極め、
変革への一歩を踏み出すことができるはず。

探究心が沸き上がる喜びを原動力に、
より良い社会を構築するために。
新しい価値を創造するために。

私たちは、大学を「心」と「知」と「行動」の拠点として、
地球規模で広がる課題に立ち向かいます。
1639年の創立以来、貫いてきた進取の精神、
そして日々積み上げる学びをもとに、様々な人と手を携えながら、
誠実に地域や社会の発展に力を尽くしていきます。

豊かな多様性の中で、心と心がつながる。人と人が支え合う。
その先に、社会の新しい可能性が生まれていく。
龍谷大学が動く。未来が輝く。

You, Unlimited

龍谷大学 経済学部

あらゆる「壁」や「違い」を乗り越えるために、「まごころ」を持ち、
「人間・社会・自然」について深く考える人を育む。
それが、龍谷大学の教育のあり方です。

自分自身を省み、人の痛みに感応して、
他者を受け容れ理解する力を持つ。
人類が直面するリアルな課題と真摯に向き合う。
そして様々な学びを通じて本質を見極める目を養い、
自らの可能性を広げていきます。

深草キャンパス

京都市伏見区深草塚本町 67
Tel 075-645-7894
keizai@ad.ryukoku.ac.jp

大阪、奈良、兵庫
から好アクセス

JR大阪駅 → 約42分
京阪京橋駅 → 約41分
近鉄奈良駅 → 約43分
JR三ノ宮駅 → 約63分



<https://www.econ.ryukoku.ac.jp>

